

伝統・伝承

きつ

焼きたての小魚をじゅーつと酢に 食欲がわくさっぱりとした常備食



【材料】 (4~5人分)

- 小魚・・
- 三杯酢

酢・・・・1/2カップ

濃口醤油・1/4カップ 砂糖・・・1/4カップ弱

酒・・・・少々

青ネギ・・・・・適量

ショウガ・・・・適量

【データ】

- 由来:小魚を「焼いて」三杯酢 に「漬ける」製法から。
- 用途:常備采・家庭料理
- 地域:瀬戸内海沿岸・島嶼部
- 情報:香川県では「鯵の三杯」、 「魚の三杯」などと呼ばれる。 「南蛮漬け」は東南アジア経由 で「南蛮(スペイン・ポルトガ ル)」から調理方法が伝わった とする説もある。全国的に同様 の調理法を用いた郷土料理は多 数存在する。

(5) 432 1

【作り方】 ・ 本ギを5㎝に切ってくしに刺い無の水分をふきとる。 ・ 小魚の水分をふきとる。 ・ 小魚の水分をふきとる。 ・ 小魚の水分をふきとる。 ・ 小魚は、出来ればうろこを取 と、は干切りにして③に入れる。 ・ 本ギを5㎝に切ってくしに刺い魚は、出来ればうろこを取 杯なき、 ②を焼き、 「ぐらいたってからいただくと味 分量にとらわれずたくさん作っ (の味は甘みを控えめにすること)すと長持ちするので便利である。つけ汁を時々沸して冷まし、つ 骨も軟らかくなる。 あつあつを④につけ込 刺 ショウガ

家庭・日常

6

あい し小 るず の魚よ つ小似 た麦だ 酢 の効用をうまく利用した料理 粉料 杯を理 酢付に かけ南 杯油漬 酢でが にああ Ū いる。 とうが これは

べた利くた釣喜と焼に 物味だと、りばいき塩ツ 物味だでわっ 農にれわ 忙小菜るつラし魚の。をと り、食欲のない時に最適の別いているのでさっぱりでいるのでさっぱりのでいたとうではないかとってはないかとってはないかとうではないかといっている。「焼きづけ」はだれたけ、はだれでした。「焼きづけ」はだれにっとふって身をしめ、直火小アジ、トラハゼなどの小 『恵に上灰小 おまうもッで魚